

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3817206	ボランティア活動 volunteer activity	木村 典子	専門	1	選択	1・2年 前・後期
科目の概要						
社会性、自分の能力の再発見、生活の満足感などを学べるボランティア活動について理解していきます。 学生自身が自分の活かせる場をみだし、みずからボランティア参加を行っていくという形態をとれるように展開していきます。 生活デザイン総合学科で取り組む東北支援も、ボランティアの対象とします。						
学修内容			到達目標			
① ボランティア活動についての概要を学ぶ。 ② ボランティア活動をするにあたっての心構えが理解できる。 ③ 積極的に自分にあったボランティアを収集し、活動の仕方について学ぶ。 ④ 参加したボランティア活動の報告を通して、より意味ある参加方法について学ぶ。			① ボランティア活動についての概要が述べられる。 ② ボランティア活動をするにあたっての心構えが列挙できる。 ③ 積極的に自分にあったボランティアを収集し、活動にむすびつけることができる。 ④ 定期的にボランティア活動状況について報告することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自分にあっているボランティアを探し方の表を使って選ぶことができる。 行く予定のボランティア団体を教員に報告し、自ら、ボランティア団体に連絡がとれる。				
	働きかけ力					
	実行力	目標を設定して、最後まで、ボランティア活動を行うことができる。				
考え抜く力	課題発見力	ボランティア活動して、知ったことについて文献を使ってさらに深めることができる。				
	計画力					
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。				
チームで働く力	発信力	自分が体験したボランティア活動をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:使用しない。資料を配布する。 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。			学生自身が自分の活かせる場をみだし、みずからボランティア参加を行っていくという形態をとっていきます。積極的に自分にあったボランティアを収集し、活動にむすびつけること、定期的にボランティア活動状況について報告することができることを目的にしています。これらの活動を通して、社会人基礎力が総合的に養われていくことを望んでいます。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①		・活動報告がわかりやすく書かれ、次回の活動参加に結び付けている。
		②		
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	60	①	✓	(主体性)
		②		・自らで参加できるボランティア活動を探し、連絡・報告・相談ができています。
		③	✓	・活動報告がわかりやすく書かれ、次回の活動参加に結び付けている。
		④	✓	(実行力)
				・目標を設定して、最後まで、ボランティア活動を行うことができています。
				(課題発見力)
				・ボランティア活動して、知ったことについて文献を使ってさらに深めることができています。
				(創造力)
				・自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができています。
				(発信力)
				・自分が体験したボランティア活動をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表ができています。
				(傾聴力)
				・グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができています。
				(規律性)
				・無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができています。
その他				
総合評価 割合				

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
学生自身が自分の活かせる場をみだし、みずからボランティア参加できる。積極的に自分にあったボランティアを収集し、活動にむすびつけること、連絡・報告・相談ができる。体験したことを次に結びつけることができています。	教員のアドバイスのもと、学生自身が自分の活かせる場をみだし、みずからボランティア参加できる。連絡・報告・相談ができる。体験したことを次に結びつけることができています。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ボランティアの種類について学ぶ。	講義	ボランティアの概要について説明をします。	(復習) 授業の振り返り	45	主体性
2週 /	ボランティア情報収集方法について学ぶ。	講義	自分にあったボランティア情報収集できる。	(復習) 授業の振り返り	45	主体性
3週 /	ボランティア活動の心構えを学ぶ	講義	ボランティア参加にあたっての連絡ができる。	(復習) 授業の振り返り	45	主体性
4週 /	ボランティア活動直後の指導	実習	ボランティアに参加した直後、レポートとともに、報告できる。	(復習) 参加レポート作成	45	主体性
5週 /	ボランティア活動後の報告会	実習	ボランティアに参加内容を発表できる。			主体性
6週 ～ 15週	ボランティア活動に参加 (岡崎明るい社会の会のイベントの手伝い 岡崎福祉まつりの手伝い 平和学園、こどもへの読み聞かせ 地域でおこなわれる祭り、イベントのボランティア 高齢者施設でのレクリエーション活動 障害者の外出支援)	実習	学生自ら活動場所を探して参加できる。 1. ボランティア先の指導責任者が確認できること。 2. 指導担当教員の事前・事後指導をうけていること。 3. 事前・事後指導時間、学外ボランティア活動と構成する。 4. ボランティア活動時間数は年度を通じて加算していく	(復習) 参加レポート作成	495	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

